

経験段階別到達目標

令和4年6月7日策定

コスモスプランで示されている『スクールマネージャー』に必要な5つの資質

スペシャリティ	統括能力	コミュニケーション能力	意思決定能力	人間性
学校における法規・庶務・経理など学校事務のすべての領域に精通し、それを活用する能力	学校事務部門の総括者として事務部の経営を行う能力	機に応じ説得力・調整力・接遇能力を発揮し、組織内外の調整や交渉ができる能力	学校教育目標達成のための企画と適切な判断を行うことができる能力	・教育活動に深い理解と熱意を持って職務に取り組む ・豊かな人格を備え、学校に勤務する全ての職員と協調して職務を遂行できる能力

『スクールマネージャー』に必要な5つの資質を得るための、経験段階に応じた研修課題及び資質ごとの到達目標

職名	経験段階	研修課題	経験段階に応じた資質ごとの到達目標 (上段から「スペシャリティ」「統括能力」「コミュニケーション能力」「意思決定能力」「人間性」)
共同学校事務室主幹 統括事務室主幹	熟練期 (32年)	管理職又は管理職を支える者としての力量を更に高める。リーダーとしての取り組むべき課題を明確にして、職務改善を指導する力を充実させる。	学校事務すべての領域に精通し、活用することができる
			学校経営目標達成のため、学校事務部門の総括者として事務部の経営を行うことができる
			組織、学校及び地域間の調整や教育委員会、校長会及び他の関係機関との対外的な交渉を行うことができる
			学校教育目標達成のための優れた分析・提案・判断を行うことができる
			教育活動に深い理解と熱意を持ち、豊かな人格を備え、職員・地域と協調して職務を遂行することができる
事務室主幹	深化期 (26年～31年)	管理職又は管理職を支える者としての役割を理解し、自覚を高め、発展期の経験をもとに、職務に必要な知識や技能を深化させる。リーダーとしての取り組むべき課題を明確にして、職務改善を指導する力を向上させる。	学校事務全般に必要な高度な知識・技能を有し、活用することができる
			学校経営目標達成のため、学校事務部門の責任者として事務部の経営を行うことができる
			学校及び地域間の調整や教育委員会及び他の関係機関との対外的な交渉を行うことができる
			課題を発見し、解決するための分析・提案・判断を行うことができる
			教育活動に理解と熱意を持ち、豊かな人格を備え、職員・地域と協調して職務を遂行することができる
事務主査	発展期 (19年～25年)	中堅職員としての役割を理解し、自覚を高め、充実期の経験をもとに、職務に必要な知識や技能を発展させる。リーダーとして、全校的視野に立ち、組織を機能させるためのコミュニケーションの重要性への理解を深め、指導力を充実させる。	職務遂行上の高度な専門的知識・技能を有し、活用することができる
			学校経営目標達成のため、学校事務部門の指導者として事務部の経営を行うことができる
			学校及び組織内の調整や外部との意思疎通を図ることができる
			課題解決のための分析・提案・判断を行うことができる
			教育活動に理解と熱意を持ち、豊かな人格を備え、全ての職員と協調しながら職務を遂行することができる
主事任主事任	充実期 (11年～18年)	中堅職員としての自覚を高め、向上期の経験をもとに、職務に必要な知識や技能を充実させるとともに、学校教育の基礎的な知識を身に付ける。自己課題を明確にし、問題解決に向けた今後の取組を構想し実践する力を向上させる。	職務に関する専門的知識・技能を有し、活用することができる
			学校経営目標に沿った事務部の経営を行うことができる
			学校及び組織内の調整を行うことができる
			課題解決のための分析・判断を行うことができる
			教育活動に理解と熱意を持ち、全ての職員と協調しながら職務を遂行することができる
主事	向上期 (6年～10年)	職員として、基礎期の経験をもとに、職務を円滑に進めるための協働に関する知識や技能を身に付ける。	習得した知識・技能を生かしながら職務を遂行することができる
			学校教育目標を理解し、事務部を経営することができる
			学校内の調整を行うことができる
			経営資源(人・物・金・情報・時間)のバランスを考えながら判断することができる
			教育活動を理解し、全ての職員と協調しながら職務を遂行することができる
	基礎期 (5年)	職員としての自覚を高め、基礎的な知識や技能を身に付ける。	基本的知識・技能を習得し、職務に生かすことができる
			事務部経営を意識しながら業務を遂行することができる
			学校の顔として接遇を行うことができる
			経営資源(人・物・金・情報・時間)の重要性を認識し、判断することができる
			公務員としての役割や責任を自覚し、職員との関わりを深めることができる